

所属名	事務事業名	ページ番号
都市政策課	空き家等対策事業	2
都市政策課	空家等対策計画策定事業	3
都市政策課	都市計画策定事業	4
都市政策課	都市計画基礎調査事業	5
都市政策課	都市計画情報整備事業	6
都市政策課	立地適正化計画策定事業	7

令和5年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	空き家等対策事業	事業期間	平成 25 ~ 年度
担当部署・係名	都市政策課 空き家対策室	担当課長名	福田 秀典
総合計画における位置づけ	政策	恵まれた自然と共生し、人と地球にやさしいまち	
	施策	暮らしに身近な生活環境の向上	
	基本事業	生活に密着した環境問題の改善	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	空き家等の適正な管理を図ることにより、空き家の倒壊並びに空き家等における火災及び犯罪を未然に防止し、もって市民の安全で安心な暮らしの実現及び良好な生活環境の保全に寄与する。				
事業の対象者	市民				
令和4年度 主な活動実績	○苦情相談を受けた危険な空き家等について、現地調査及び所有者調査を実施し、所有者（管理者）に適正管理を促す。 ○危険な状態が切迫した空き家等に対する、網掛けや一部撤去等の緊急安全措置工事を実施する。 ○危険な状態の空き家に対して50万円を限度に除却費の一部を助成。 ○空き家等情報登録制度の実施。 ○空き家無料相談会（年/2回）の実施。 ○空き家問題講演会（年/1回）の実施。				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	11,937	10,915	16,521		
うち佐賀市の負担額	11,937	10,915	13,059		

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
苦情対応件数						件
R2 実績	R3 目標	R3 実績	R4 目標	R4 実績	R5 目標	R6 目標
409	300	369	300	426	300	

成果指標②						単位
空き家解体費助成件数						件
R2 実績	R3 目標	R3 実績	R4 目標	R4 実績	R5 目標	R6 目標
11	14	12	15	18	15	15

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	苦情対応件数は、「佐賀市空家等実態調査及び対策計画策定業務」を行った結果、問い合わせ件数が令和3年度よりも増加し、目標値を上回る結果となった。 空き家解体費助成件数は、空き家の見回りを行い、危険空家所有者に対する連絡と本制度の案内を行ったことで申請件数を増やし、目標値を超える件数となった。



成果目標達成に向けた対応策等
空き家対策事業においては、危険な空き家の是正措置等だけでなく、空き家の発生防止や有効活用が重要となるため、対策計画に基づき関係部署や業界団体等との連携を図り事業を進めたい。

令和5年度 事務事業実績報告シート

事務事業名	空家等対策計画策定事業	事業期間	令和 4 ~ 令和 4 年度
担当部署・係名	都市政策課 空き家対策室	担当課長名	福田 秀典
総合計画における位置づけ	政策	災害に強く、安心で利便性が高い暮らしが実感できるまち	
	施策	計画的な土地利用の推進	
	基本事業	土地の有効利用の推進	

1 事務事業の基本情報

事業概要	「空家等対策の推進に関する特別措置法」において市町村は、その区域内で空家等に関する対策を総合的かつ計画的に実施するため、基本指針に即して、空家等に関する対策についての計画（以下「空家等対策計画」という。）を定めることができるとされている。これに基づき、「佐賀市空家等実態調査及び対策計画策定業務」を委託し、佐賀市の空家等の実態を把握するとともに、令和5年度から10年間にわたる「佐賀市空家等対策計画」を策定した。				
事業の対象者	市民				
根拠法令等	空家等対策の推進に関する特別措置法第6条、第11条				
決算額の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業費総額			15,313		
うち佐賀市の負担額			9,218		

2 事業の活動実績

活動実績①					単位
空き家の把握数					棟
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	
		3,221			

活動実績②					単位
所有者アンケート回答数					件
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	
		1,342			

3 活動実績の推移に関する分析及び今後の見込み

本事業における空き家の把握数に関しては、地元自治会の協力もあり、前回調査より正確な空き家数の把握を行うことができた。この結果を受け、今後は空き家となる要因の傾向分析を行い、地域の特性に合わせた施策を検討したい。

令和5年度 事務事業実績報告シート

事務事業名	都市計画策定事業	事業期間	平成 19 ~ 令和 年度
担当部署・係名	都市政策課 都市計画係	担当課長名	福田 秀典
総合計画における位置づけ	政策	災害に強く、安心で利便性が高い暮らしが実感できるまち	
	施策	計画的な土地利用の推進	
	基本事業	土地の有効利用の推進	

1 事務事業の基本情報

事業概要	市民に対して都市計画に関する情報提供を円滑に行うため、市民向けGIS（庁内向けGISも対象）の都市計画図を現況に即した図面に更新する。				
事業の対象者	市民				
根拠法令等	都市計画運用指針Ⅲ-2-6				
決算額の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業費総額	407		479		
うち佐賀市の負担額	407		479		

2 事業の活動実績

活動実績①					単位
変更箇所数					箇所
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	
2		2			

活動実績②					単位
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	

3 活動実績の推移に関する分析及び今後の見込み

<p>都市計画決定等により現況に即した図面に更新を行った。 今後も都市計画の決定・変更があれば、速やかに更新を行う。</p>
--

令和5年度 事務事業実績報告シート

事務事業名	都市計画基礎調査事業	事業期間	令和 4 ~ 令和 4 年度
担当部署・係名	都市政策課 都市計画係	担当課長名	福田 秀典
総合計画に おける位置づけ	政策	災害に強く、安心で利便性が高い暮らしが実感できるまち	
	施策	計画的な土地利用の推進	
	基本事業	土地の有効利用の推進	

1 事務事業の基本情報

事業概要	佐賀県が実施する、都市現況及び将来の見通しを定期的に把握するための調査。 事業費の1/2を負担し、資料の提供その他必要な協力を行った。 都市政策の企画・立案及び都市計画の運用に資するため、都市計画基礎調査の結果を基に、都市の現状分析、課題の把握、将来予測を行うことで、具体的な都市計画の決定・変更の必要性を把握する。				
事業の対象者	市民				
根拠法令等	地方財政法第27条、都市計画法第6条				
決算額の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業費総額			11,259		
うち佐賀市の 負担額			11,259		

2 事業の活動実績

活動実績①					単位	
都市計画基礎調査の項目数					件	
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績		
		61				
活動実績②					単位	
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績		

3 活動実績の推移に関する分析及び今後の見込み

都市計画基礎調査は概ね5年ごとに実施することとされている。
基礎調査の実績を基に、具体的な都市計画の立案、手続きに着手していく。

令和5年度 事務事業進捗報告シート

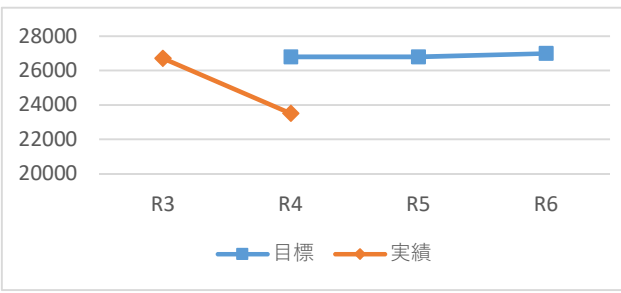
事務事業名	都市計画情報整備事業	事業期間	令和 3 ~ 年度
担当部署・係名	都市政策課 都市計画係	担当課長名	福田 秀典
総合計画における位置づけ	政策	災害に強く、安心して利便性が高い暮らしが実感できるまち	
	施策	計画的な土地利用の推進	
	基本事業	土地の有効利用の推進	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	市民への都市計画に関する知識の普及及び情報提供に寄与するため。				
事業の対象者	市民				
令和4年度 主な活動実績	最新の地形図をベースとした用途地域等の都市計画データを整備し、ホームページ上で市民向けに公開。				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	-	3,096	0		
うち佐賀市の負担額	-	3,096	0		

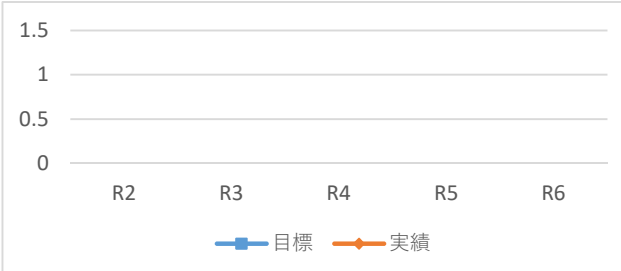
2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
ぐるっとさがナビ（都市計画マップ）のアクセス件数						件
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
-	26,712	26,800 23,511	26,800	27,000		



年度	目標	実績
R3	26,800	26,712
R4	26,800	23,511
R5	27,000	
R6	27,000	

成果指標②						単位
						件
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		



年度	目標	実績
R2		0
R3		0
R4		0
R5		0
R6		0

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	社会情勢の影響により、都市計画に関する確認数が減少していると考えられる。 都市計画に関する照会があった際、ぐるっとさがナビの活用促進を行ったことにより、アクセス目標件数は概ね達成している。



成果目標達成に向けた対応策等
市民向けGIS「ぐるっとさがナビ」の利用者の増加を促進し、都市計画に関する知識の普及及び情報提供を行っていく。

令和5年度 事務事業実績報告シート

事務事業名	立地適正化計画策定事業	事業期間	令和 4 ~ 令和 5 年度
担当部署・係名	都市政策課 都市計画係	担当課長名	福田 秀典
総合計画に おける位置づけ	政策	災害に強く、安心で利便性が高い暮らしが実感できるまち	
	施策	計画的な土地利用の推進	
	基本事業	土地の有効利用の推進	

1 事務事業の基本情報

事業概要	生活利便性・安全性の高いエリアへのへの居住を誘導するとともに、各種生活サービス施設を中心市街地や駅周辺等の「まちなか」へ計画的に誘導し、まちなかと居住地を公共交通で結ぶことで、将来にわたり持続可能な「都市機能集約型のまちづくり」、「地域拠点連携型のまちづくり」を目指す計画の策定。				
事業の対象者	市民				
根拠法令等	都市再生特別措置法第81条				
決算額の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業費総額			24,238		
うち佐賀市の負担額			14,988		

2 事業の活動実績

活動実績①					単位
都市再生協議会開催回数					回
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	
		2			

活動実績②					単位
コンパクトシティ推進対策本部会議開催回数					回
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	
		1			

3 活動実績の推移に関する分析及び今後の見込み

<p>庁内・庁外の策定会議等を通して多角的な視点から検討を行い、立地適正化計画を策定していく。</p>
